



平成18年号

発行 ゆう動物病院
 〒601-8432 京都市南区西九条東島町58-103
 TEL. (075)681-5300 / FAX. (075) 681-5300
 URL: http://www11.plala.or.jp/

◆ 去年の改善点 ◆

⑦ 院内の設備を少し良くしました。
 イスとクッションを良くしました。待合を大きくしたいなあ、マッサージ機とか置けたらなあ……。

① 皮膚や心臓の慢性病の薬価を下げました。
 ジェネリック医薬品(特許が切れて安く使える)も採用しながら改定しました。連用して頂く薬は使い易くして頂ける様に考えています。でも人件費のウエイトが大きいので難しい所です。

④ 定期購読雑誌を増やしました。
 皮膚病と一次診療の専門雑誌です。元々の雑誌は減らしてないので少々読むのが大変です。

⑧ 駐車場を増やしました。
 大きな車の止めやすいのを少し離れていますが確保しました。(後で地図を載せています)

② フィラリア薬の粒を腸管の寄生虫にも効くタイプにして値下げしました。
 体重によっては二〜三割位安くなります。予防薬の種類も増えました(注射はしていません)。

⑤ 専門本を購入しました。
 感染症・眼科・外科全集をまた増やしました。もちろんセミナーや実習等にも出ています。
 これが高いんです……。

⑥ 器具を購入しました。
 歯科系・眼科系・整形外科系はもちろん救急疾患へのセットやICU(集中治療室)の設置をしました。EMSマシンと言う理学療法(物理療法)の器械もあります。これらがまた高い!

③ 犬のワクチンの種類を変更(八種↓七種)にして値下げしました。
 種類が減った病気は余り重要で無く、その分アレルギー発生率の減少とより強い効き目が期待できるワクチンに変更しています。五

⑨ 院内プリントを増やしました。
 もう三十種類を超えています。病気でなくても知る事は最大の予防です。読んで下さいね。

お陰様で開業して三年目になりました(卒業して臨床開始してからは八年です)。空手も真面目に三年位頑張ると黒帯になります。ただ、黒帯と言うのは実は初段から始まり十段まであるので「初心者では無いけど、奥を極める入り口に立った」程度のものです。
 同じ様に何とか開業獣医師としてのスタートライン

院長 森本真一郎

現在の看板のある離れた駐車場から油小路沿いに少し下がった所です。番号は1番で黄色いブロックが目印です。もちろん周囲には各自お気をつけ下さい!

病院 横のP(1台)
 看板のあるP(2台)
 もう少し下がった大きな駐車場の1番だけです

油小路通り 矢印方向下がる

駐車場が増えました

二〇〇五年を振り返って



最初の一〜二年はとにかく

気が張って頑張り過ぎました。自身が心労・過労でダウンする的多かったのですが(病院は休んでいませんが休める時に寝込む)、スタッフに対しては非常に厳しく申し訳無い事をしたと反省しています。とにかく普段から徹底してミスを防ぐ・技術向上・知識向上・マナー向上とやかましく、帰ってもこれを読む様にとトヨタ・京セラ・ワタミ・一流ホテルの事を書いたビジネス本を読ませたり、挙句に儒教や高僧の教えを読ませたり、ミーティングは多いわ厳しいわ……まさに虎の穴状態。もちろんその分、能力に基づいて給料の評価をして業界高水準を無理して出していましたし、それなりに楽しい事もしていたのですが、そら続く人が珍しいのは当然でした(苦笑)。

笑)。今でも感謝してはいます

が一人が頑張ってくれたので何とかなつたのですが、その子が二年してお祖母さんの介護で辞める事になった時に「これは非常にまずいな」とやっと危機感を覚えました。自分では働いてくれている人を同レベルの「戦友」の扱いをしていました。「ここは戦場なんだ!だから気合入れて頑張れ!」と……しかし考えたら立場もキャリアも年齢も全部違うのに同じレベルを要求して叱る事自体が大間違いでした。大体誰も戦場で働きたくありません(苦笑)。まあ僕もです……正直精神的にもキツイ状況でした。知らない間に十円ハゲが出来ていたのには笑えました。後にJ.Rの脱線事故があった時に「厳しくやり過ぎるとやっぱ駄目だな」と確

信しました。

余裕の無さは、スタッフを信頼しない所も有りましたが、ある意味自分自身や病院への信頼不足も有つたのでしよう。常に気を張って見張って仕事している感じでした。ただ、その厳しい状態の中で常にフィードバックしていく事で、病院のインフラやソフトを整備して、結果としてスタッフから自然にミスの元が少なくなり、質が高くなり自然にきちんと働ける様に、特にこの一年の時間で可能になってきました。その成果もあり僕はほぼ怒る事が無くなりました。来院される人はもちろんですが、自分自身にとってもスタッフにとつても居心地が良くなる病院にしたいかなと駄目だと痛感しました。今年の診療も色々ありました。やはり色々な病気が有りますので、診断も治療も色々

なパターンが有ります。

まずうちの病院で分かった病気を紹介します。でもこれは前の病院が悪かったと言っている訳ではありません。うちも分からない病気も時々あります。病気には進行が有るので病期によっては分かり難い事もあるから最初の診察では不明な事も有るでしょう。それを踏まえた上で、例えばこういう場合が有ります。 「軽い猫のカゼ?」が実は「膿胸」・「癌性胸膜炎」・「横隔膜ヘルニア」 「アレルギーによるイボ?」が実は「肥満細胞腫」 「捻挫?」が実は「骨折」 「風邪で喉が腫れている?」が実は「喉から竹串が飛び出して炎症」 「下痢?」が実は「消化器型リンパ腫」 「蛋白漏出性腸症」 「怪我?」が実は「皮膚リンパ腫」 「脳梗塞?」が実は「前庭疾患(老犬多い)」

「膀胱炎?」が実は「猫の膀胱腫瘍(上の皮膚リンパ腫と共に珍しい)」

「胃酸過多?」が実は「コキシウム(寄生虫)」 「外耳炎?」が実は「扁平上皮癌」 「コキシウム?」が実は「犬パルボウイルス症」 「ストレスで脱毛(外国から来たので)?」が実は「甲状腺機能低下症」 etc でも、正直言つて「何でだろう?何でこんな事を?」と思う例も…… *レントゲンで写らないタ イプの石を確認せず詰まると何度も手術されていたら子 *インシュリンは犬に無いと言われて食事運動療法だけで死に掛けた子 *避妊後脱腸・去勢後大出血(いずれもポラントイアみだいな所でした手術) *半分だけ避妊していた…… *単なる猫の疥癬(ダニ、すぐやつつけれる)で一ヶ月近く入院していた……

広告のコーナー

ペット送迎クラブ

大切なご家族の大切な快適な「足」
として！
値段等は聞いて下さいね。
090-9163-1124
さえきさん まで



少し書いてみましたが、色々と有ります。とにかくうちの病院も含めて納得いく説明を受けて治療し、不安や疑問は聞いて、場合によつては様子がイマイチなら一度セカンドオピニオンを求めて他の病院の意見を聞くのも大切かも知れません。

当院もちゃんと丁寧に診察し説明し、「治らなかつたら一度あの病院に行つてみたら？」と言われる様なむしろセカンドオピニオンを聞かれる病院になりたいです。

「この可能性の内、どれなんだろう？でも分からない……」が多いパターンです。今でも考えてしまふのが、Kちゃんと言う子の病気で、Kちゃんは少し前から食欲不振で来ていました。とりあえずシャイで大暴れする位なので点滴を三日ほど……身体検査も異常なく、症状は無いものの全く食べません。で、尿検査・血液検査・レントゲンをしました。何も異常が無い！特別な症状自体が無い！ただ食欲が無いだけで元氣。ですが、一週以上食べないとさすがに元氣も落ちてきます。栄養力テールを入れるついでにバリウムを入れてみました……全く不明。色々投薬しても（ステロイドは悪化すると嫌なのでとりあえずせず）やっぱり駄目。消化器症状（吐き下痢）や腹痛・喉の不快感も無いのだけど、何か分からないけどステロイドを使つてみるか（とりあえず色々効くので副作用覚悟）、CT・

MR Iや内視鏡のある他院に行つてしてみるか、試験開腹をさせて頂くか……そんな話になりました。散々検査して何も分からず挙句に「お腹開けませんか？」なので当然と言えば当然か飼い主様は来なくなつてしまいました。僕は気になるので暫くして電話で聞いてみました。すると……「次の日に治りました。ガチャ！」

次の日に治つた？でも電話で聞ける状態では無いので後学の為に知りたいので、とFAXさせて頂きました。当然返事は無く、一体全体、本当に治つたのか？それは自然なのか？他の病院に行つたとしたら何の検査をして何の治療で治つたのか？それにしても一日で……？今も考えてしまいます。日々勉強ですね。

病院がある程度固まりつつある時期に来て改めて自分の作りたいたい病院とは何か考えると、「最善のホーム

ドクター」だとやはり強く思います。

僕の考える「最善のホームドクター」とは「特殊な病気や手術（年に一〜二度あるかどうか）を全部するのは無理でも、その他多くの病気、特に良くある病気に対しては常に最新の情報と方法に基づき医療を質の高いサービスと共に、適正な値段の元で提供する、優しい獣医さん」です。更に年一〜二回の特殊な事に關してもきちんと勉強し、適切に二次病院を紹介している事、やれる事は確実に増やしていく事をしたと思つています。ただ特殊なやれる事を無闇に「一応」増やす事で一般診療の料金が増えたり、質が低下したりするならば本末転倒だと僕は思います。逆に同じ投資と努力を一般の診療の質を普通の何倍にも高める為に使います。

そして一般でもあり特殊にもなりますが、皮膚病に關しては専門医や認定医の

広告のコーナーについて

(掲載無料です。動物関係で希望される方はご連絡下さい)

試験ができたなら取る事を目標に特に頑張つていきます。

例えばこんな風に言われる病院になりたいです。

「ゆう動物病院に行けばちゃんと診て説明して治してくれるよ。もし難しい病気なら病院を紹介して貰えるか、少なくとも『分からない』と教えてくれるよ。皮膚病が得意みたい。気持ち良いサービスを提供してくれるし優しく対応してくれるよ。」

で、「値段は普通より少し安い位の病院やな。もっと安くして欲しいわ。(笑)」

◆トリアの種よりは

役に立つトピックス集

(前から分かっている事もあります)

*熱射病について続報

www.pedigree-otenki.jp

犬の夏バテ予報を出しています。気温22度・湿度60%から四段階に分けて毎日二回更新、散歩を避けた方が良い時間も分かりますよ。

*ペットを飼って

医療費節約

ドイツ・オーストラリア・中国の合同調査でペット飼育者は飼っていない人よりも医療機関に通う回数が15%少なく、その医療費削減効果はドイツで約七千億円・オーストラリアで約三千億円にも上ると試算。

*犬の毛色によって

性格に違い

コーネル大学によるとブラドールはイエロー・ブラック・チョコの順で、コッカースパニエルは単色・

ブチの順で攻撃性が高いらしい。日本でもシーズーは黒っぽい方が怒りっぽいとかいう話があります。

*ハムスターも狂犬病!

ポリビアでペルーから輸入したハムスターが狂犬病と診断された。他の病気の事もあるので噛まれない様にご注意を!

*室内?屋外?

自由に外を歩く猫は行動範囲の限られた猫の二十〜三十倍感染が多く、特に雌は雌の二〜三倍感染が多い。ちなみに去年の統計では犬の室内飼育率60%で屋外30%の倍になりました。猫は外に出すと危険が一杯(感染・喧嘩・事故・迷子)で犬は群れの動物なので共に室内飼いがベスト!

*皆の悩みは?

統計によるとシーズーの飼い主の悩みは健康管理、ドッグフードを食べなくて困っているのはMダックス

とパピヨンの飼い主、しつけが難しいと悩んでいるのはビーグル・チワワ・雑種の飼い主だとか...当たっています?

*アレルギーについて

小さい時からアレルギーン(アレルギーの元)を含まない食事を与える事でアレルギーの発生を防ぐ事ができる、と言う発表がありました。

*熟年離婚を防ごう!?

日本ペットフード工業による団塊の世代のビジネスマン三百名の調査で「ペットを飼って良かった事」を聞いた結果、家庭が和やかになる61.3%毎日楽しくなる46.7%ストレス解消になる41.3%だそう。子はかすがいならぬペットはかすがいの時代になってきましたね。

*犬は心臓の薬

米カリフォルニア大ロサンゼルス校のチームの調べ

では心不全の患者七十六人の調査で「安静に寝ている」「人と触れ合う」「犬と触れ合う」の中で一番犬と触れ合う事の効果が大きかったとの事。

*ひよつとしてトラ並?

よこはま動物園ズーラシアでの一日当たりの一頭の食費、一番高いのはインド象の五四七五円でした。他

*夫よりペット?

オブラインショップジブラ(全米二位)の調査では女性ペットオーナーの56%が夫や彼女よりもペットに愛情を感じ、45%が大切な人より可愛いと言っている。それに対して男性は41%がペットにより愛情を感じ、25%がペットのほうが可愛いそうです。この差は?ちなみにペットの居る女性の73%がペットの居る男性を好むそうですよ。

*イギリスの話ですが...

英ペット保険会社「バージンマネーペットインシュアランス」によるペットの名前の調査結果1位はモリー、以下チャーリー・マックス・ミリー・オスカー・

*猫の血液型

世界的にA型が九割を占めるがオーストラリアのブリズベンだけ七割。シヤムとアメシヨは全てA型でブリティッシュは20%60

十犬種オーナー調査の結果

***犬種による飼い主分析**

パーフェクトフィットの
ファイリアはここ十年で
感染率が50%から26%に
半減しました。心臓病も
47%から26%に半減、で
も神経疾患が2%から19
%と著増しています。

***病気の統計**

二〇〇四年度多い犬種は
ダックス・チワワ・プード
ル・ヨークシャ・パピヨン・
コーギー・シーズー・ポメ
ラニアン・ラブラドル・
Mシユナウでした。

***JKCのランキング**

%とB型が多い、AB型が
居るのはアビシニアン・ソ
マリ・ブリテイッシュ・ス
コティッシュ等だそうです。
輸血の際には念の為血液型
は合わせる必要があります。
ちなみにB型の♀がB型以
外の♂と交配すると新生児
同種溶血現象が発生します
ので注意!

によると、まず犬の飼い主
は「協調性が高く好奇心旺
盛」な人が多く、チワワの
オーナーは「大変社交的
(44%)」だが神経質(46%)
でコーギーのオーナーは「個
性的(50%)」で目立ちたが
り屋(24%)」柴犬とラブ
ラドルのオーナーは「リ
ーダーシップを取るタイプ
(柴30%ラブ40%)」で感情
的に傷つくのは少ない(柴
18%ラブ16%)」だそうです。
当たっていますか?

***その他色々**

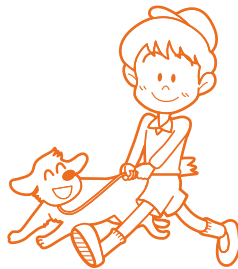
・ハムスターは超音波を出
してコミュニケーション
を取っている。イルカも
たいですね。結構色んな
会話をしているのかも……。
・猫は草を食べているので
はなくて実は嘔んでいる?
・VMA(獣医の雑誌)に
よると糖尿病の発生率は
ここ三十年で十五倍以上
になりました。肥満に注
意!

バックナンバー(?)

前回の号に興味がある方は
ホームページ

<http://www11.plala.or.jp/YUU/>

をご覧ください。



広告のコーナー

ウィッシュのママ(トリマーさん)

カットはもちろん愛情一杯の一味違
つペットホテルがありますよ。送迎
あり。値段等は聞いて下さいね。

090-5240-7435

小倉さんまで



野生鳥獣の保護について

年に何回か野生鳥獣を拾って治療を求めて来られる方がおられます。多くの方はきちんと普通の診察の様に来院され、連れて帰られます。なるべく応急処置はしていますがこんな方も居ます。

「さっき道で拾ってん、弱ってるし宜しく頼むわ!じゃ!!」受付に置いて帰ろうとする外回り営業っぽいお兄さんが言います。良い人だと思います。でも非常に困ります。「うちで引き取って面倒は見れません。お兄さんが回復するまで飼われるなら良いのですが、でなければ京都市野生鳥獣センターに連れて行って下さい。」と言うと「よそでは診てくれた!」と怒って帰られてしまいました……。

後で書きますが、僕も小学校~中学校に拾って育てていましたし、前の病院ではそういうカラスとか担当になり面倒を見ていましたのである程度はできますし、お世話は嫌いではありません。

ただ、基本的に当院では野生鳥獣の治療はしていません。少しばかり応急処置をさせて頂く事は有りますが引き取る事は絶対にしません。なぜなら責任が持てないし果たせないからです。

一度保護すると野生に返せるまで何ヶ月も、場合によっては一生面倒をみななければなりません。

うちの様な狭い病院でケージを一個占有されるだけで死活問題です。さらに本来の治療への労力が分散され、様々な院内感染の注意もしなくてはなりません。残念ながらできる状態にはありません。

野生鳥獣の保護に関しては

①まずは放置するのが基本です。残念ですがそれが野生の世界です。雛が落鳥していても親が周囲で見ている事が多いのでそっと高めの木や茂みに移動して下さい。

②保護する場合は場合によっては一生面倒を見る覚悟で拾ってあげて下さい。そうでない場合は京都市獣医師会(075-314-5707)でも野生鳥獣保護獣医の登録の先生をされている方もおられますが、京都には幸い野生鳥獣センター(075-771-0210)があるのでご利用下さい。

[2005年1~12月]



手術記録

memo



手術回数

百六十三回。たぶん毎年

この位でしょうか？

多い手術

今回は十位まで書いてみました。①猫の去勢②猫の

避妊③犬の避妊④子宮蓄膿

症⑤犬の去勢⑥乳腺腫瘍

⑦その他の腫瘍⑧抜歯・スケーリング(磨き)⑨(同数)帝王切開・断尾ちなみに断尾はヨーロッパでは幾つかの国で禁止又は禁止の方向です。猫犬では尾の怪我を防ぐという大義名分があります。純血犬だからと言ってするべきなのか……

猫をしないならしなくても良いのでは？とは毎回聞いています。ちなみに当院では断耳はしません。

今年に新たに行った避妊去勢・単純な腫瘍切除以外の手術としては、

■断指
今年には四件も！様々な腫瘍ができるので要注意の場所です。

■フィラリア釣り出し
もうショック状態になれば難しいです。救命率は50%とも言われます。残念ながら今回は駄目でした……皆さん予防はしっかりとして下さいね！

■大腿骨骨折修復
全ての骨折手術はできま

せんので紹介する事も多いです。

■膀胱切除
なんとか三分の二近くはギリギリで切除でき、その後元に戻ります。

■大腿骨骨頭切除
軽い体重の子の再発性脱臼や慢性の股関節炎では特

に有効です。

■前肢断脚
後肢の様に腫瘍に対してです。決断は重いですが満足度は高い手術になります。

■臍・腹壁・前恥骨韧带ヘルニア
ヘルニアの多い病院ですね。最後のは初めて見ました。

今年に新たに行った避妊去勢・単純な腫瘍切除以外の手術としては、

■断指
今年には四件も！様々な腫瘍ができるので要注意の場所です。

こんな手術もしました

去年までは会陰ヘルニア・子宮水腫(猫)・会陰部尿道口ウ(♂の性転換)・膀胱結石・横隔膜ヘルニア・腸切開(異物)・ソケイヘルニア・股関節脱臼修復・会陰切開ポリープ切除・後肢断脚・垂直耳道切除・帝王切開・肝臓破裂修復・胆嚢切除・眼球摘出・膀胱憩室修復。

最高年齢

十六歳十カ月(記録更新)

です)。乳腺腫瘍のシエルティーさんです。肝臓が悪かったので心配でしたが無事に終わり元気にされています。やはり凄く緊張します……。そう言えば帝王切開で九歳もビックリしました(人で五十過ぎ!)全員元気でした。

リンパ腫・血管肉腫・悪性黒色腫・脂肪腫・悪性末梢性神経鞘腫・血管周皮腫・皮内角化上皮腫・肛門周囲腺癌・肛門周囲腺腫・平滑筋肉腫・肥満細胞腫・悪性線維肉腫・基底細胞腫など、様々な種類の腫瘍がありますね。よって様々な種類の治療法がありますが、基本はやはり外科切除です。その上でどういう治療をしてあげたいかを相談しましょう。当院では対応できない放射線治療やCT・MRI対応病院への紹介もしています。

余り積極的に抗がん治療しない場合はDフラクシオンと言う免疫増強のサプリメントが有効で、当院でも良く使っています。闘うだけが、がん治療では無いとも思います。

よく相談して様子を見て決めてあげましょう。

今年は何もありません

腫瘍がありました

二大腫瘍の乳腺腫瘍と普通のリンパ腫を除くと、扁平上皮癌・組織球腫・皮膚





連載物

自己紹介の話 ③

飼っていたペットの話で

忘れられないのはやっぱり犬なのですが、野生動物の保護の話も少ししましたので、その話の前に保護していた(一部拉致?)野生動物の中で一番忘れられないツバメの話を書きます。

カラス位になると生命力の強さをヒシヒシと感じる位なのですが、野生の小鳥は非常に難しいものです。なので弟がツバメを拾って来た時は「可愛いけどなあ……」と思ったものです。もうまさしく卵から孵ってすぐに落ちたつて感じてました。

しかし日頃から動物の本で学習している成果を見せねばなりません。幸い手足になる部隊(弟二人)は居るので毎日天然の虫を取って来て食べさせました。最

初は団子を作ってみたりしていましたがすぐに丸呑みです。しかしビックリする程の食欲です。

毎日駆け回って貢ぐのですが間に合わず、ついになけなしのお小遣いでミルワームと言う市販の芋虫まで買ってあげていました。僕の財力と反比例しツバメはどんどんと成長して、高い所から布団に落とす練習を重ね遂に狭い部屋の中を飛びだしました。

僕達はツバメをカゴに入れる気などさらさら無いのでウンチを撒き散らしても部屋を自由にさせて居ました。まあ今になると親の怒っていた気持ちは分かりませんが、その当時は「飛べなくなつて良いのか!!」と

逆切れです。例の芋虫も冷蔵庫に保存していましたし

……。やっぱり困つた子供です(苦笑)。その内ツバメを肩に乗せて散歩をする様になりました。

これは当時犬を飼つてなかつた僕にとつては非常に誇らしい事でした。亀やヒキガエルにヒモを付けて散歩していた時の気恥ずかしい感じは皆無です。皆見てくれ!つて感じでした。実際本当に馴れていて賢く、基本的には肩でじつとして

いるのですが、ぱつと空中に放すと頭上を一周して近くにヒュウッと戻つて来てくれました。

ツバメが秋に飛び立つ事は知っていたので足に赤いヒモは巻きつけて居ましたが、コイツは一生ここに居るんだらうなああとそう思い込んで近くの広場で毎日の

様に飛ばして遊んでいました。でもそうはいかないものです。

秋になったある日、頭上を飛んでいたうちのツバメに寄り添う様に別のツバメがどこからともなくやってきました。二人でくるくると話し合っているかの様に回っていたかと思うと、そのまま「さよなら」する様に僕の頭上で大きく二回転してさうと遠くへ飛んで行つてしまいました……。すごく嬉しかった様な、悲しくて泣いた様な……。

次の年に赤いヒモを巻いたツバメが来ているか町中を探したんですが、きつと細い手芸の糸だから取れたのでしよう、見つける事はできませんでした。

でもたつた半年位でしたが、保護した動物の中で一番思い出に残る子になりました。

そういや去年春、骨もバラバラに飛び出しウジだら

けの両手首を失つたノラ猫さんが来院していました。手術しようか迷つたのですがノラなのでできる範囲での事で、大きな手術しないで細かい壊死物・腐骨除去と閉鎖療法と拾つた人の熱意で何と皮膚が戻り歩ける様になつたのも感動しました。もちろん野生の生活は無理ですが、優しいおじさんと仲良く暮して居ます。

【続く】

広告のコーナー

K.T.Cクラブ・KIWI Dog's CLUB

愛犬は家族の一員と考えるアヤハティオのしつけトレーナーでもある方が、しつけ教室だけでなく木のケージのホテルでお預かりもしています。

藤森店：075-643-1614まで





混みを避けるには

暇な時は本当に寝てしまいたくなる位に暇なのですが、沢山来て頂ける時は不思議と集中します。通常はもう一人先生が居られるのでご迷惑をお掛けするのは少なくなると思うのですが、やはりしっかり診察する上で時間短縮するのは難しい面も有ります。

そこで「こうしたら良いかも?」と言うポイントを書いてみます。

- * **予約を利用する。**
予約のある方は予約時間から30分以内に優先してお呼びします。
- * **水曜を避ける。**
休みの次の日は混む事が多いようです。水曜はたいてい暇です。
- * **終わり間際を避ける。**
どんどん詰まって大変な事になっている事も……最初がベスト?
- * **5月より4月。**
フィラリア投薬開始は5月からだけど検査・薬だけ4月に済ませる方も。
- * **何事も早めに。**
いよいよ大変な症状になると検査も診察も時間・費用がかかります。



参考にして下さいね

2006年の予定(特別な事)

インターネットを使った入院患者の看護システムを導入する予定です。今はまだですが、入院している子の様子を病院の診察室・待合や僕の自宅で見られる様にします。飼い主様へも画像配信できると良いのですが、どうなるでしょう? ハードにもよりますが、なるべく取り入れたいと思っています。

ゆくゆくは端末をお貸して、それを通して病院から飼い主様の家のペットをある程度診られるシステムを作れたらなあと思うのですが、現状では非常に価格が高いようです。同様に耳鏡や顕微鏡などの世界をなるべく見て頂ける様にしたいと思っています。

また何かご希望がありましたら教えて下さい。



広告のコーナー

SORAN BERRY (トリマーさん)

その子に似合った可愛いかついいスタイルをお客様と考えます。値段等は聞いて下さいね。
090-8524-8881
江上さんまで



■病院に対するご要望・意見を待っています■

日頃からスタッフ一同、良い病院にする為に頑張っていますが、僕たちでは気がつかない事や至らない事もあると思います。そういう点を教えて頂ければ、勉強になります。

「365日・24時間診察してくれ」と言われても急には無理ですが、その様なご要望が飼い主様の必要としている病院像をつかむ事にもなりますので、どうか教えて下さい。

病院を利用しましょう

もちろん病気の診断と治療も大事ですが、普段から利用して頂きたいのは予防と飼い方の相談です。予防というのはワクチンやフィラリアももちろんですが、肥満の管理など飼い方についても、大きな事を未然に防ぐ観点から非常に重要な事になってきます。健康手帳にも大事な情報が書いていますので読んで



下さいね。
ちなみにワクチンの際に爪きり・耳掃除・臭腺絞りは必要ならサージスでしていますよ!
そして病院にたびたび来て頂くと無料でご利用できるこんな得する事があります!
院内プリントとサンブルの配布・しつけのビデオ・本の貸出し・体重測定・口輪やカラー手袋貸出し: etc
散歩のときや季節の変わり目、色んな時に病院を利用して下さいね。



〒601-8432
京都市南区西九条東島町58-103

ゆう動物病院